

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第751号（令和八年九月号）

・表紙：「秋の声（三秋・天文）」（次月兼題）



【季語】 秋の声（三秋・天文）

【子季語】 秋声、秋の音

【解説】

約150年前に開設された小学校の旧校舍跡でしょうか。当該小学校は学校令による名称の変更や人口増に伴う学校の分離等の歴史を歩んできているようです。

なお、季語「秋の声」は、物音がさやかに聞こえること。風やせせらぎなど自然の音ともかぎらず、人のたてる物音ともかぎらない。具体的な音ばかりでなく、心の中に響いて来る秋の気配もまた、「秋の声」である。

【有名俳人の句】

- ・帛（きぬ）を裂く琵琶の流れや秋の声・・・蕪村
- ・さゞ浪やあやしき迄に秋の声・・・・・・嘯山
- ・遠風か夜空に満つる秋の声・・・・・・阿部次郎

- ・見返れば山暮れてをり秋の声・・・・・・・・八幡丈太郎
- ・めつむりて聴く秋声や檜林・・・・・・・・長倉閑山
- ・寺掃けば日に日にふかし秋の声・・・・・・・・中川宗淵

☆高得点者および高得点句

＊前月の清記表に記載された10名の50句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

＜高得点者（敬称略）＞

16点 穂心、15点 恵吾、11点 勝、10点 碧亥、修平

＜高得点句（4点以上）＞

◎4点以上の高得点句

- ・祇園会や縄目新たに鉾の建つ／穂心・・・・・・・・8点
- ・君思ふ心が回す白日傘／穂心・・・・・・・・7点
- ・東山魁夷のブルー梅雨時雨／恵吾・・・・・・・・6点
- ・夕立の匂ひ残して山暮るる／修平・・・・・・・・6点
- ・ゆっくりと上る遮断機油照り／温州・・・・・・・・5点
- ・水打って祇園の家業始まりぬ／恵吾・・・・・・・・5点
- ・繰り言は聞き流しをり心太／勝・・・・・・・・4点

☆特選句および選評

＊50句の中で特によかったと思った句に選評を付して各人が一句選びます。

特選句には2点のポイントが与えられますが、特選句が必ずしも高得点句になるとは限りません（高得点句になるには多くの同人の選句が必要です）。

- ・祇園会や縄目新たに鉾の建つ／穂心・・・・・・・・2名の選

（選評）・京都の方は非常に大切にしている祭り。同期の友人も夏休みに入るといそいそと帰省した。

・伝統の祇園祭の長刀鉾をイメージしている。毎年新しい縄で山車を組み立てている行事や、所作をテレビで見て感動した。

- ・東山魁夷のブルー梅雨木立／恵吾・・・・・・・・2名の選

（選評）・有名な「東山ブルー」に梅雨木立を重ねた発想に感動します。余計な説明をせず言い切ったことで、かえって情景が浮かびます。

・魁夷のブルーと梅雨木立の取り合わせが絶妙です。

- ・枕辺に近き溪音夏館／碧亥・・・・・・・・1名の選

（選評）・涼しく心地よい夏の旅（山辺か川辺か）をうまく表現した心地よい作品です。

- ・ゆっくりと上る遮断機油照り／温州・・・・・・・・1名の選

（選評）・上五「ゆっくりと」と季語「油照り」の心理状況がよく効いた句です。

暑い最中を長く待たされたのでしょうか。

- ・青簾潜れば風の若返る／修平・・・・・・・・1名の選

（選評）・『潜れば風の若返る』に脱帽です。

- ・君思ふ心が回す白日傘／穂心・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・何とも色気と気品がある。それもさわやかな色気。
映画の中の吉永小百合さんのようだ。
- ・水打って祇園の家業始まりぬ／恵吾・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・朝一番、店の周囲に水を撒く情景が目には浮かぶような作品で、古都独特の
情感も感じられます。
- ・梅雨の路地今浦島の吾が身かな／碧亥・・・・・・・・・・1名の選
(選評)・時々記憶が・・・という訳でもありませんが、梅雨の夕暮れ時の薄暗さは、
見慣れた景色を消す時があります。急ぐこともないでしょう。ゆっくり、ゆ
っくり。

☆その他のトピックス

1. 今月号の清記

◎今月は10名の方が合計50句を出句されました。

2. 近況報告等

- ① 勝様：この度震度5強の地震のあった熊本にお住まいです。
同人各位より電話、メール等でお見舞いの連絡を頂いたとのこと。
皆様のお見舞いに対して以下の「近況とお礼」を掲載されました。

『今年の夏は夏籠りするような日々が続きます。先日は地震のお見舞いありがとう
ございました。芦火の皆様に気にかけて頂き、改めて御礼申し上げます。
10年前前の地震を思い出しました。震度5強との事でしたが、体感的には前より強
いと思いました。我が家の実態は前よりおとなしい結果となっております。しかし、
周辺で起きていることは、前回よりきついものです。近くの道路に罅が見えました。
(中略) 今回の我が家は、幸いにしてインフラがつながっていますので、この猛暑
に何とか耐えて行けそうです。(後略)』
- ② 六甲様：『勝様、度々の大地震、心が痛みます。くれぐれも健康第一 十年前よりも
大いに体も弱くなってきています。』
- ③ 善富様：地元奈良の天理高校が夏の甲子園に出場ということでテレビ機数から応援
されていると。また、飛鳥・藤原京跡がユネスコ世界文化遺産に指定され人の往来
が以前より多くなったそうです。
- ④ 碧亥様：『毎日暑い日が続いています。お互いに熱中症に注意して過ごしましょう。』
- ⑤ 甲舟様：『本業としているのは川柳(柳号：八木幸彦)で日本最大の川柳同人誌であ
る「番傘」誌の編集長として頑張っています。』

- ⑥ 要様：『気分が良いので精神科の薬は断薬していましたが、医師は「飲んだ方がいいよ」と。また飲み始めました』

読売新聞「気流」に次の句が掲載されたとのことです。

【深夜に起き出し ドイツ語の学習】

要様おめでとうございます！

- ⑦ 碧玄様より先月号の清記表の一番の【東山魁夷のブルー梅雨木立】について以下のコメントを頂きました。

『先月号清記（七五一号）の一番の句にびっくり。【東山魁夷のブルー梅雨木立】

「東山魁夷の青や蟬時雨」 この句は小生の芦火第九句集に収録した一句です。

（平成十三年（2001年）八月一日発行）

俳句という十七文字の短詩形が故に起こり得るかと思います。一番の句の作者は「梅雨木立」と感じ、私は「蟬時雨」と感じています。私は俳句は出来るだけ漢字を使うというので「青」とし、現代の若い人は「ブルー」とした感性の違いはありますが。俳句の難しさと言うか、面白さと言うか、そんなところでした。』

- ⑧ 穂心様：かつて仕事の拠点として別府におられたこともあって、この度の熊本地震に関しては、十年前の地震をも思い出し、他人ごとではないと思われたと。

『関西でも、南海トラフ大地震の時期が迫っているとも言われており、阪神淡路大震災からの教訓が薄れている今、そうした自然災害へ備える気持ちを新たにしたいものです』と締めくくられています。

- ⑨ 温州：柑芦会公式フェイスブックに『芦火』の活動のおしらせ』を掲載した旨報告させて頂きました。

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の11名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）
メルアド：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）
メルアド：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）
メルアド：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上
（文責：平林 温州）